

<H16-5-A : 解説>

$87.0\text{mm}/3.0\text{mm} \times 50\text{m} = 1,450\text{m}$ (対地高度) $0.15\text{m} \times 10,000 = 1,500\text{m}$ (撮影高度)

よって、

$1,500\text{m} - 1,450\text{m} + 150\text{m}$ (基準面標高) $= 200\text{m}$ (地点の標高) となる。

解答 : 4

<H16-5-B : 解説>

TSを用いても編集は不可欠である。

その他は、問題文の通り。

解答 : 5

<H16-5-C : 解説>

ア : バンドル法 (内部標定の後)

イ : 独立モデル法 (内部標定・相互標定の後)

ウ : 多項式法 (内部標定・相互標定・接続標定の後)

エ : 多く (多項式法はすべての基準点を使うので)

オ : 長く

(複雑な計算プログラムを用いるため、計算量も膨大となるが、測定に要する時間は短くなる)

解答 : 5

<H16-5-D : 解説>

1. 光学センサでは雲の影響大きく受ける。間違い。
2. 正しい。
3. 正しい。
4. 惑星探査機などで実用。正しい。
5. 正しい。

解答 : 1